

JELLY BEANS Group

JELLY BEANS GROUP

2027年1月期 第2四半期（中間期）決算短信 補足説明資料

株式会社ジェリービーンズグループ（東証グロース 証券コード 3070）

2026.9.10

1 中間期の総括

Summary

2 事業の取り組み

Business Update

3 財政状態

Financial Position

4 通期見通しと体制

Outlook & Governance

5 補足資料

Appendix

1

中間期の総括

Summary

■ 売上高は前年同期比 +162.0% の 2,261百万円。営業損失は 627百万円、特別損失 106,968千円を計上。通期業績予想は変更なし

業績

売上高

2,261 百万円
前年同期比 +162.0%

営業損失

627 百万円
前年同期 169百万円の営業損失

経常損失

666 百万円
前年同期 174百万円の経常損失

親会社株主に帰属する中間純損失

648 百万円
前年同期 241百万円の中間純損失

事業の進捗

新ブランドの独占契約

SAPPUN/Auren/iHEAL
独占販売代理店契約・独占販売契約を締結

新サービス

STADIUM AI
8月4日にローンチ、公式サイト公開（当中間期中に準備）

提携

株式会社JTB
JBエンターテインメントが
エンターテインメント分野で業務提携基本合意

サステナブル事業

蓄電池案件
受注済み案件を下期に順次完工・売上計上予定

留意事項

特別損失

106,968 千円
減損損失 61,112/送金詐欺損失 45,000（千円）

継続企業の前提

重要事象等が継続
事業領域の拡大とコスト構造改革に取り組む

展開時期の後ろ倒し

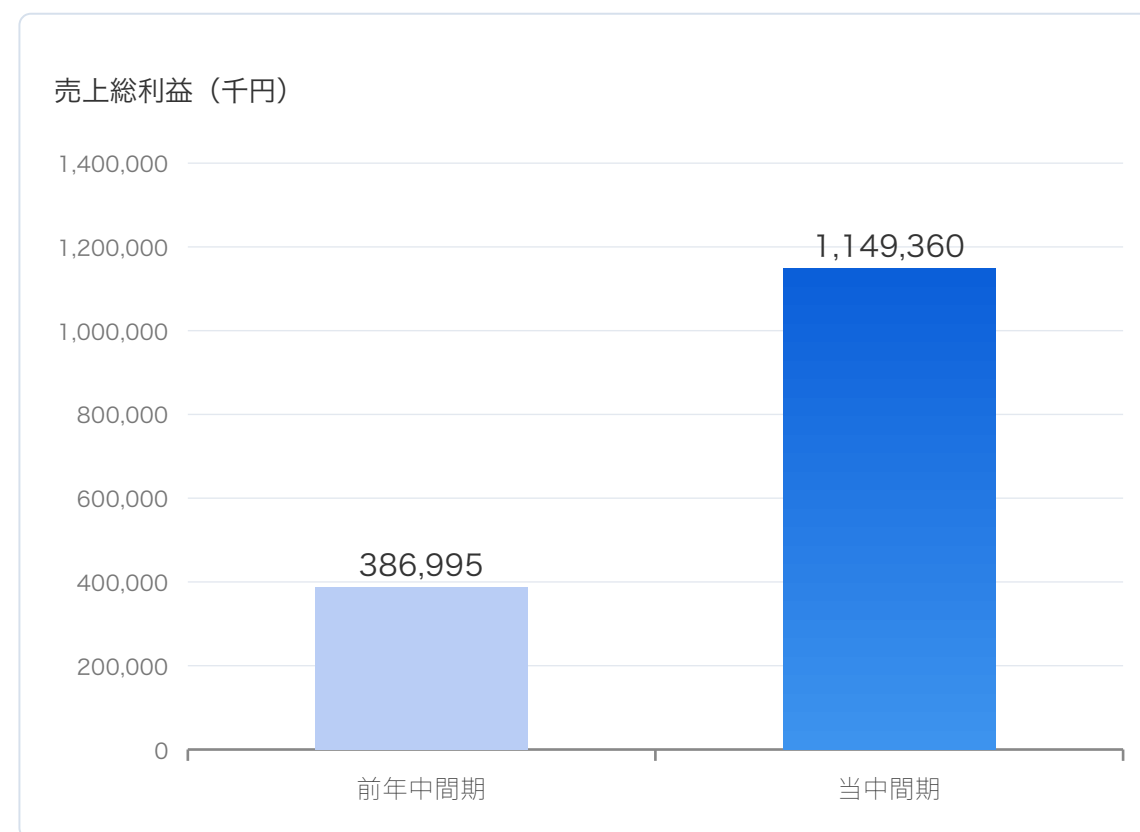
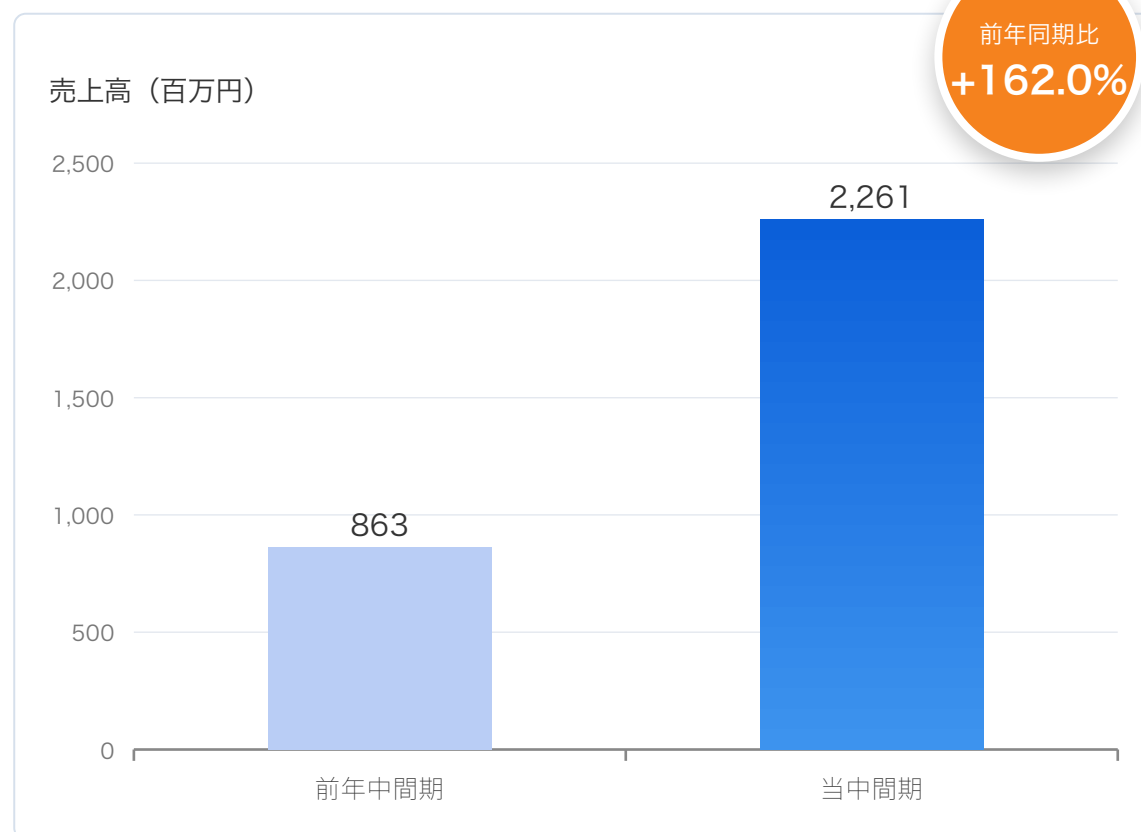
卸売チャネル・SAPPUN
売上の一部の計上時期が後ろ倒し

リコールの影響

売上回復の遅れ
3Dフルーツポップスアイスのリコールにより売上回復が当初想定より遅れ、業績に影響

■ 売上高は前年同期比 +162.0% の 2,261百万円、売上総利益は 1,149,360千円（前年同期 386,995千円）。
営業損失は 627百万円（前年同期 169百万円）

単位：売上高は百万円、売上総利益は千円（いずれも決算短信の記載値）



■ 販売費及び一般管理費 1,777,095千円（前年同期 556,328千円）、特別損失 106,968千円を計上し、親会社株主に帰属する中間純損失は 648百万円

単位：千円（中間連結損益計算書の記載値）

科目	前年中間期	当中間期
売上高	863,290	2,261,823
売上総利益	386,995	1,149,360
販売費及び一般管理費	556,328	1,777,095
営業利益（△は損失）	△169,333	△627,735
経常利益（△は損失）	△174,891	△666,021
特別損失	31,630	106,968
親会社株主に帰属する中間純利益（△は損失）	△241,576	△648,366

売上面の影響要因：リコールは P4、展開時期の後ろ倒しは P12（注）参照

特別損失の内訳（106,968千円）

減損損失

61,112 千円 「ライフスタイル」セグメントで計上
（決算短信 添付資料P13）

送金詐欺損失

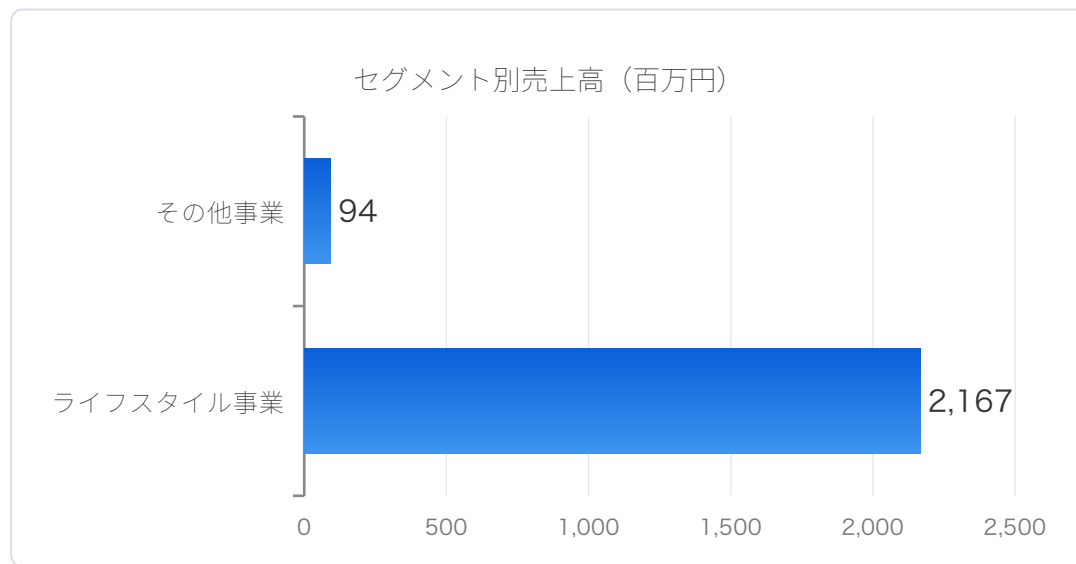
45,000 千円 （決算短信 添付資料P7）

固定資産除却損

855 千円 （決算短信 添付資料P7）

特別利益：計上なし

■ ライフスタイル事業の売上高 2,167百万円、その他事業 94百万円（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む）



ライフスタイル事業（8社）

ジェリービーンズグループ

ジェリービーンズ

Gold Star

JBメディカル

JBロジスティクス

361Sports Japan

MAKE BEAUTURE

NEW ジェリービーンズマーケティングラボ

その他事業（6社）

JB BLOCK

JBエンターテインメント

JELLY BEANS KOREA CO.,LTD.

NEW サンライズ

JBサステナブル

NEW JBエナジー

NEW：当中間期に新規連結（連結範囲の重要な変更 新規3社：株式会社サンライズ、JBエナジー合同会社、株式会社ジェリービーンズマーケティングラボ）

注：構成会社（社数を含む）は当社情報（2026年7月31日現在）

ライフスタイル事業 セグメント損失 **349** 百万円

その他事業 セグメント利益 **13** 百万円

調整額（全社費用等） **△290,926** 千円

2

事業の取り組み

Business Update

2 当中間期の主なトピックス（1）新ブランド・独占契約

- 「SAPPUN」「iHEAL」の独占販売代理店契約と株式会社Aurenとの独占販売契約を締結し、販売・事業推進に向けた準備を進める



国内独占販売代理店契約

SAPPUN

婦人靴及びアパレル等の販売事業で
契約を締結したグローバルブランド

販売に向けた準備を進める

※立ち上げは体制整備等に当初の想定以上の時間を要し、
展開時期が後る倒し（P12 注参照）



独占販売契約

株式会社Auren

サンリオキャラクターズ正式ライセンス取得の
アパレルブランドを展開

販売に向けた準備を進める



日本国内独占販売代理店契約

iHEAL

韓国発の女性向け
インナーケア・フェムケアブランド

事業推進のための準備を進める

■ 「STADIUM AI」を8月4日にローンチし公式サイトを公開（当中間期中に準備）。

新商品の発売、予約販売に向けた取り組み、「JELLY BEANS STYLE」のマスターブランド展開を推進



新サービス・新商品

「STADIUM AI」
8月4日にローンチ
公式サイト公開



新サービス・新商品

Gold Star 新商品
「ドバイもちもち
チョコクッキー」



新サービス・新商品

「H.L.B PREMIUM
重炭酸バスタブレット」
予約販売準備



新サービス・新商品

「JELLY BEANS STYLE」を
マスターブランドとして
展開を推進

■ エンターテインメント分野で株式会社JTB と業務提携基本合意、MY-ONE Co., Ltd. と業務提携。
受注済み蓄電池案件は下期に順次完工・売上計上予定



提携・新規事業

株式会社JTB と業務提携基本合意



提携・新規事業

MY-ONE Co., Ltd. と業務提携（メタバース）



提携・新規事業

アーティスト・タレントマネジメント業務を開始

受注・稼働予定

受注済み蓄電池案件は
下期に順次完工・売上計上予定

受注・稼働予定

たつの再生重油製油所は追加是正工事中、
2026年10月中の事業開始見込み

- 新ブランド・新商品の販売に向けた準備を進め、卸売チャネルの構築と SAPPUN の立ち上げも順次展開に向けて準備中（展開時期は後ろ倒し、注参照）

LIFE STYLE

ライフスタイル事業：売上高 2,167百万円／セグメント損失 349百万円

※写真はイメージです

1 アイスクリーム販売（Gold Star）



アンバサダー起用の購入者
参加型キャンペーン

2 婦人靴・アパレル等（株式会社ジェリービーンズ）



「JELLY BEANS Me」の
立ち上げを推進

■ サステナブル事業は蓄電池・生ごみ処理・都市油田の案件を推進。

株式会社JB BLOCK はメタバースプラットフォーム事業を展開する MY-ONE Co., Ltd. と業務提携し、事業推進のための準備を進める

OTHER BUSINESSES

その他事業：売上高 94百万円／セグメント利益 13百万円

※写真はイメージです

1

サステナブル事業



蓄電池・生ごみ処理・
都市油田の案件を推進

2

株式会社JB BLOCK



MY-ONE Co., Ltd. との
業務提携に基づき、
事業推進のための準備を
推進

3

財政状態

Financial Position

■ 総資産 6,238百万円（前期末 6,645百万円）。現金及び預金 346百万円（△675百万円）、短期借入金 450百万円（+350百万円）。自己資本比率 71.3%（前期末 71.4%）

総資産

6,238 百万円

前期末 6,645百万円

純資産

4,627 百万円

前期末 4,931百万円

自己資本

4,448 百万円

前期末 4,745百万円

自己資本比率

71.3 %

前期末 71.4%

主な増減（対前連結会計年度末、百万円。決算短信 添付資料P3 の記載値）

資産

負債

純資産

+289 投資有価証券

+205 出資金

+135 有形固定資産

+132 無形固定資産

△675 現金及び預金

△837 受取手形及び売掛金

+350 短期借入金

+50 株主優待引当金

+22 資産除去債務

△194 未払金

△222 未払法人税等

△27 長期借入金

+180 資本金

+180 資本剰余金

△648 親会社株主帰属 中間純損失

■ 営業CF △361百万円（前年同期 △773百万円）、投資CF △987百万円、財務CF +673百万円。
現金及び現金同等物の中間期末残高は 346百万円（前期末比 △675百万円）

単位：百万円

営業活動によるCF

△361 百万円

前年同期 △773百万円

投資活動によるCF

△987 百万円

前年同期 △492百万円

財務活動によるCF

+673 百万円

前年同期 +1,521百万円

現金及び現金同等物 中間期末残高

346 百万円

前年同期末 521百万円

営業活動によるCF（主な要因）

- 税金等調整前中間純損失 △772百万円
- 売上債権の減少 +837百万円
- 未払金の減少 △197百万円
- 仕入債務の減少 △36百万円
- 未払又は未収消費税等の減少 △148百万円

投資活動によるCF（主な要因）

- 投資有価証券の取得 △300百万円
- 出資金の払込 △905百万円
- 長期前払費用の取得 △68百万円

財務活動によるCF（主な要因）

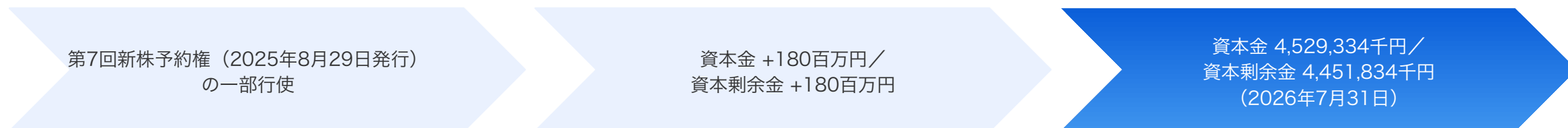
- 短期借入金の増加 +350百万円
- 新株予約権の行使による株式の発行 +351百万円
- 長期借入金の返済 △27百万円

参考

現金及び預金 346百万円（前期末 1,022百万円、△675百万円）／短期借入金 450百万円（前期末 100百万円、+350百万円）

- 第7回新株予約権の一部行使により、資本金・資本剰余金が各 180百万円増加

資金調達の流れ（第7回新株予約権の行使）



期末発行済株式数

83,143,500 株

前期末 79,444,000株

期末自己株式数

56,889 株

前期末 56,889株

期中平均株式数

81,744,046 株

前年同期 33,771,896株

1株当たり中間純損失

7.93 円

前年同期 7.15円

配当

第2四半期末 0.00円／期末（予想）0.00円／年間（予想）0.00円 直近公表の配当予想からの修正なし

4

通期見通しと体制

Outlook & Governance

■ 通期の連結業績予想は 2026年3月13日公表の予想から変更なし

単位：百万円（％は対前期増減率）

売上高

5,740 百万円

+59.9%

営業利益

304 百万円

経常利益

278 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

164 百万円

1株当たり当期純利益 2.08円

参考：当中間期の実績（百万円）

売上高 2,261

営業損失 627

経常損失 666

親会社株主に帰属する中間純損失
648

会社の見方

売上は計画比でやや遅れが生じたものの通期に向けては堅調に推移。第2四半期末時点の営業損失等は、第3四半期以降の施策により期末に向け回復を見込む（次ページ）

注：本ページの業績予想は将来に関する見通しであり、その達成を約束するものではありません（免責事項参照）

4 下期に向けた取り組み（会社の見方）

- 既存事業の回復、新規ブランド・商品の展開、サステナブル事業の収益貢献により、第3四半期以降に回復を図ることが可能と判断

1 アイスクリーム販売事業

- オペレーションの見直し
- 新たな販売先との取り組み等による販売回復

2 婦人靴及びアパレル等の販売事業

- 新規ブランド・商品の立ち上げ
- 卸売チャネルの拡大を順次推進

3 サステナブル事業

- 受注済みの系統蓄電所向け蓄電池案件を下期に順次完工・売上計上予定
- 生ごみ処理ソリューション・都市油田ビジネス等の新たな事業を育成
- 特定事業への収益依存を低減し、安定的な事業ポートフォリオを構築



上記施策により第3四半期以降の回復を図る

通期の連結業績予想は変更なし
(売上高 5,740百万円／営業利益 304百万円／経常利益 278百万円
／親会社株主に帰属する当期純利益 164百万円)

- 継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が引き続き存在。事業領域の拡大とコスト構造改革に取り組む

現状

前連結会計年度まで8期連続の営業損失・営業キャッシュ・フローのマイナス、10期連続の親会社株主に帰属する当期純損失。当中間期も売上高 2,261百万円、営業損失 627百万円、親会社株主に帰属する中間純損失 648百万円、営業活動によるキャッシュ・フロー △361百万円

1 事業領域の拡大及び収益基盤の多様化

- 婦人靴に加え、ライフスタイル、サステナブル及びエンターテインメント等の複数の事業領域へ展開
- 商品・販売チャネルの多様化、蓄電池案件の遂行
- 特定の商品・事業に過度に依存しない収益基盤の構築に取り組む

2 コスト構造改革

- JBロジスティクスヘグループ内物流を集約
- 販売チャネル・商品構成・在庫水準・運営コストを見直し
- 売上規模の変動に左右されにくい収益構造へ

■ 管理業務集約子会社の設立と、株式会社チチカカの株式取得による子会社化を決議（いずれも 2026年9月10日 取締役会）

管理業務集約のイメージ（決算短信 添付資料P15 の記載に基づく）



① 子会社の設立：株式会社JBビズサービス

会社名	株式会社JBビズサービス（JB BIZ SERVICE Co.,LTD.）
代表者	代表取締役社長 田上 昌義
資本金／出資比率	9百万円／当社100%
設立・事業開始	2026年9月中設立、10月中事業開始（予定）
決算期	1月

目的：当社及び国内関係会社の財務、経理、総務、人事、労務及び情報システム等の管理業務を受託集約し、業務処理を実施することを目的とした当社100%子会社を設立

② 株式取得による子会社化：株式会社チチカカ

会社名	株式会社チチカカ（東京都港区新橋四丁目21番3号）
事業の内容	洋服・雑貨の小売、卸売（資本金 1,000万円）
株式取得の相手先	スターシーズ株式会社
取得株式数／取得価額	80,000株／金1円
取得後の持分比率	100.00%
株式の取得時期	2026年9月10日

目的：中南米など世界各国の生産者との取引により各国の伝統文化をベースとしたエスニック衣料や雑貨の企画・製造を行い、日本国内の店舗・ECサイトで販売。同社の独自の提案力、商品企画力及びブランド力は当社が今後注力するライフスタイル事業との親和性が高く、当社グループの事業領域の拡大に資するものと考え、株式取得を決定

5

補足資料

Appendix



単位：千円（中間連結損益計算書の記載値）

科目	前年中間期	当中間期
売上高	863,290	2,261,823
売上原価	476,295	1,112,463
売上総利益	386,995	1,149,360
販売費及び一般管理費	556,328	1,777,095
営業損失（△）	△169,333	△627,735
営業外収益	2,446	3,870
営業外費用	8,003	42,156
経常損失（△）	△174,891	△666,021
特別利益	810	—
特別損失	31,630	106,968
税金等調整前中間純損失（△）	△205,711	△772,990
法人税等	35,864	△124,563
中間純損失（△）	△241,576	△648,426
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	—	△60
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△241,576	△648,366

営業外費用 42,156千円の主な内訳は貸倒引当金繰入額 31,160千円・為替差損 9,137千円。

中間包括利益は △659百万円（サマリー情報）。

単位：百万円（決算短信 添付資料P3・サマリー情報に百万円で記載のある科目のみ）

科目	2026年1月31日	2026年7月31日	増減
資産の部			
現金及び預金	1,022	346	△675
受取手形及び売掛金	1,244	407	△837
流動資産合計	4,752	3,187	△1,564
有形固定資産	87	222	+135
無形固定資産	768	901	+132
投資有価証券	72	361	+289
出資金	504	709	+205
差入保証金	378	424	+46
固定資産合計	1,893	3,050	+1,157
資産合計	6,645	6,238	

科目	2026年1月31日	2026年7月31日	増減
負債・純資産の部			
短期借入金	100	450	+350
未払金	297	103	△194
未払法人税等	248	26	△222
株主優待引当金	131	182	+50
流動負債合計	1,511	1,415	△96
長期借入金	183	156	△27
資産除去債務	—	22	+22
固定負債合計	202	195	△7
純資産合計	4,931	4,627	△303
（参考）自己資本	4,745	4,448	

項目	内容
連結範囲の重要な変更	有：新規3社（株式会社サンライズ、JBエナジー合同会社、株式会社ジェリービーンズマーケティングラボ）、除外なし
中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理	無
会計方針の変更	会計基準等の改正に伴う変更：無／それ以外の会計方針の変更：無／会計上の見積りの変更：無／修正再表示：無
レビューの有無	第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外
報告セグメント	「ライフスタイル」「その他事業」の2区分。その他事業には「エンターテインメント」事業と「サステナブル」事業等を含む
重要な後発事象	子会社の設立（株式会社JBビズサービス）、株式取得による子会社化（株式会社チチカカ）。いずれも2026年9月10日開催の取締役会で決議

当中間連結会計期間は、既存事業の収益力改善に取り組むとともに、
ライフスタイル、サステナブル及びエンターテインメント等の各事業領域における事業基盤の強化に取り組みました。

経済環境

- 雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復の動き
- 一方、物価高の継続、エネルギー価格及び原材料費の高止まり等により個人消費は力強さを欠く
- 依然として先行き不透明な状況が継続

婦人靴業界の市場環境

- 生活様式の変化や物価高騰を背景に消費者の購買行動はより慎重に
- 健康志向を背景としたスポーツシューズ・ランニングシューズへの需要シフト
- 婦人靴市場を取り巻く環境は引き続き厳しい状況

■ 報告セグメントは「ライフスタイル事業」（8社）と「その他事業」（6社）の2区分

ライフスタイル事業

主な事業：アイスクリーム、婦人靴及びアパレル等の販売事業等

ジェリービーンズグループ

ジェリービーンズ

Gold Star

JBメディカル

JBロジスティクス

361Sports Japan

MAKE BEAUTURE

NEW ジェリービーンズマーケティングラボ

その他事業

主な事業：サステナブル事業、エンターテインメント事業

JB BLOCK

JBエンターテインメント

JELLY BEANS KOREA CO.,LTD.

NEW サンライズ

JBサステナブル

NEW JBエナジー

NEW：当中間期に新規連結（連結範囲の重要な変更 新規3社：株式会社サンライズ、JBエナジー合同会社、株式会社ジェリービーンズマーケティングラボ）

注：構成会社（社数を含む）は当社情報（2026年7月31日現在）

本資料に記載されている当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により、これらの将来に関する記述と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 添付資料P4をご参照ください。

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の数値は2026年9月10日公表の決算短信に基づいており、同短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。本資料の数値はすべて決算短信の記載値であり、原則として当社による再計算や端数処理は行っていません。

本資料に掲載する商品名・ブランド名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。掲載写真の一部はイメージです。

本資料の内容は、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。